

# あいさつ



## 長期総合計画を踏まえた 行財政改革の推進

中泊町長 小野 俊逸

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様方には、希望と誓いを胸に新年をお迎えることと心からお慶び申し上げます。

中泊町が誕生してからは、はや2年9カ月が経過いたしました。大きなトラブルもなく行政運営がされておりますことは、ひとえに町民の皆様のご理解とご協力によるものと深く感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、4月には、防災無線の運用を開始いたしました。若干のトラブルはあったものの、自宅にいても聞きやすいと大変好評いただいております。

5月には、もったいない町民運動推進会議を発足し、町、町民、事業者がもったいないの精神のもとに5つの誓いを掲げました。特に、冠婚葬祭の簡素化の取り組みについてご協力をお願いしたところ、各地区において一定の理解を得られたものと考えております。

このほか戸籍事務電算化事業、街路灯整備事業、

中学校パソコン導入事業など、町発展の基礎となる事業に「長期総合計画」を踏まえ、取り組んでまいりました。

国の三位一体の改革により、町の財政事情は大変ひっ迫しておりますが、財政事情を勘案しながら、引き続き主要事業を推進するとともに、「給食センター建設事業」、「漁火センター改修事業」、「徐福の里物産館建設事業」などの新たな事業に取り組んでまいります。

また3月末には、行財政改革の一環として、内潟・武田両出張所を廃止することになっておりますが、住民サービスを低下させないために窓口事務の一部を郵便局へ委託することとしております。

本年も、町議会のご協力を仰ぎながら町政運営に努力してまいりたいと存じますので、今後とも町民の皆様には、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

# 新年の



## 町と議会の連携による 行財政改革への取り組み

中泊町議会議長 野上 祐一

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

輝かしい平成20年の新春を健やかに迎えのことと心よりお喜び申し上げますとともに、平素より町議会に對しまして、格別のご理解とご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年1月の町議会議員改選後の臨時議会におきまして、議員各位のご推挙により、はからずも議長の要職に就かせていただくことになりました。就任以来、各位のご指導とご支援を賜りながら町政の進展と円滑な議会運営に微力をささげてまいりましたが、その間、町民の皆様から寄せられました温かいご厚情に對し深く感謝申し上げます。

さて、平成も20年となりましたが、大きな変革の時代を迎え地方自治体を取り巻く環境は、かつて経験したことのない速さで変化しています。昨年度、三位一体改革の一環として税制改革が行われ、補助金に代わる新たな財源として、国から財源の一部の税源移譲がなされたところでありますが、地方への財源と権限の保障が曖昧であり、さらには地方交付税が年々減額傾向にあることから、財政力の弱い地方の市町村の財政は逼迫しており、真の地方分権の実現には程遠い状況であります。

当町においても、財政環境は一層厳しさを増しており、現

状のままでは行政運営や住民サービスなどにも直接影響することも考えられ、これまでの行財政システムや自治体経営のあり方の大幅な変革を迫られている状況です。

このことから町では財政の健全化に向けて、各種事務事業の徹底した整理合理化など行財政改革に取り組んでいるところであり、町議会としても昨年の6月定例議会において、現在の議員定数20名を次の一般選挙から15名に削減する条例を議員提案し議決するなど、議会費全般についても見直しを進めているところがあります。この難局を乗り切るためには理事者と議会が連携を図り、現状を改めて分析し、広く町民の皆様と情報共有して知恵をいただきながら、歳入に見合った歳出構造へと改革を進めていかなければならないものと考えています。

私ども議員も、希望をもって暮らしていける地域を次世代に引き継げるよう、重要課題に積極的に取り組み、皆様とともに、汗を流していく決意でありますので、本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈りし、年頭のあいさつといたします。